

令和4年度 第2回あさぎり苑生活環境保全委員会 議事録

場 所 丹波篠山市あさぎり苑
日 時 令和5年3月9日 午後 13:30から14:30
出席者 委員 7名
事務局 6名

上下水道部長あいさつ

会長あいさつ

本日は、今年度第2回目のあさぎり苑生活環境保全委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。部長のあいさつにありましたように、この時期は、人事異動等がありますので、新しい方には、引継ぎの方していただいて、間違いのないようよろしくお願いいたします。

議事

(1) 環境測定結果について

事務局より説明

質疑

委 員：騒音測定は日中しか測定していないのですか。

事 務 局：夜間は、汚泥乾燥設備は停止しており、活性炭脱臭機のみ稼働しています。
活性炭脱臭機は建物の中心に設置されており、近隣住家から離れていることや、扉や窓は全部閉まっていることから、朝から夕方稼働時間内にかけて測定しています。

委 員：測定箇所図において、あさぎり苑東側2箇所の測定場所の間隔が短いのではないですか。

事 務 局：過去から同じ箇所で測定をしているので、測定場所を変更すると比較ができなくなります。また、測定場所があさぎり苑から離れると、あさぎり苑からの稼働音より車などの走行音等が大きくなります。あさぎり苑から発生しているであろう騒音を測定できる距離として一定の場所で測定しています。

(2) あさぎり苑の業務量について

事 務 局より説明

質疑

委員：肥料の配布数は、もっと増えた方がいいのですか。それとも、あまり増えると困ることもあるのですか。

事務局：肥料を作成できる数が地元協定で決まっており、最大でひと月 200 袋（週 50 袋）までとなっています。

下水処理場から搬入する脱水汚泥の水分量が多すぎると、肥料にできない場合があります。肥料がサラサラの状態ですぐ詰まりをして配布するため、月に 150 袋しか作れない場合もあります。あえて肥料の量を増やしたいとか、減らしたいということではなく、その状況に応じて作成しています。

予約制としており、約 1 ヶ月待ちとなっており、予約が殺到する時期は 2 ヶ月待ちということも起こり得ます。

委員：今後の肥料配布量は、およそ同じ量で推移していくのですか。

事務局：予約状況により、翌月の作成量を算出しています。脱水汚泥の状況が悪い場合は、少なく作成する場合があります。8 月等酷暑により作業環境が悪い場合は、作成を中止します。

今年の 3 月は、施設定期整備をしているので、肥料作成はできませんでした。申し込みが殺到する時期等は、待っていただく期間が長くなります。

委員：今年度の 3 月は、施設整備で肥料配布がないが、8 月はどのようにして配布がないのですか。

事務局：8 月は、酷暑になるとわかっていたため、7 月の時点で作成しないということで案内をしています。予約があった場合は、その配布時期が遅くなります。

事務局：施設整備は、2 月から 3 月の期間で約 2 週間、完全に操業を停止します。

温度が高いと整備ができないので、数日前に停止して分解整備を行います。常に高温の中で稼働する設備であり、劣化が早いので消耗品関係を交換しています。機器の分解、点検清掃を行い出来上がれば試運転を実施し、ここで問題がなければ翌日から通常稼働に戻ります。もし何か不具合があれば、再点検となることから、整備期間は 2 週間程度必要となっています。

委員：肥料作成において、今年度は 8 月と 3 月中止しているが、令和 3 年度は、8 月 3 月は実施できているのはどうしてですか。

事務局：令和3年度8月は、かなりの酷暑でしたが、若干無理をして作成しました。
今年度8月も酷暑であり、施設内の温度が50℃を超える状態のため、作業員の体調が危険であることから8月は作成していません。今後もおそらく8月は作成できないと思っています。

令和3年度3月の肥料作成は通常どおり実施できていますが、今年度3月は、定期整備を通常2月から3月にかけて実施したので、業者の工事日程の都合により、3月の肥料作成時期と工事作業の時期が重なったことから、肥料作成を中止しています。

委員：肥料の申し込み件数が延べ335件になっているが、この中で重複している方はいますか。もし、重複しているのであれば割合はどの程度ですか。

事務局：9割以上が、リピーターの方です。

委員：肥料をよく使用される方に、出来具合等聞かれたことはありますか。

事務局：作物の出来は良いと言われています。

委員：豆や野菜の肥料に使われるのですか。

事務局：豆や野菜に効果があります。但し、注意事項ということで、あくまでも下水道汚泥を使用しており臭気が強いので、使われる場合は肥料を蒔いて直ぐにすき込むよう案内をしています。

委員：今年は、ウクライナ関係だと思いますが、肥料がそうとう高くなっています。化学肥料が5割ぐらい上がっています。農業に化学肥料を使えば、経費がばかりかかり大変です。これからは、環境のことを考えないといけないと思います。

(3) 公害モニター報告内容について

事務局より説明

質疑

委員：河川付近や東吹方面からの報告はありませんでしたか。

事務局：特に報告はありません。

委員：公害モニターさんが「臭気に関する意見なし」と言われているのであれば、特

に言うことはありません。

事務局：臭気に関するご意見等があれば、直接お出会いして状況確認をします。どんな臭いか、日付、時間がある程度はつきりしないと原因がわかりません。

(4) あさぎり乾肥 竹チップ混入(10%)にかかる臭気測定結果について

事務局より説明

質疑

委員：竹チップなしの方が通常は数値が大きくなると思うが、そうでない箇所もあるがなぜですか。

事務局：あさぎり苑に搬入される脱水汚泥の状態は、毎回同じ状態ではなく、生活排水等の成分によって違ってきます。一概に何が原因なのわかりませんが、効果があるかないかというレベルの見方として理解いただきたいと思います。

委員：あさぎり苑処理工程図は、何か変更がありましたか。

事務局：施設工程図の最新版を添付しています。内容は、写真を大きくするなど前回より少しずつ改善をしています。

委員：市内の下水処理場は、何箇所ありますか。

事務局：今年度末で、24箇所です。

○その他

委員：バキューム車の運転は、市が民間業者へ委託しているのですか。

最近気になったことがあり、道路にバキューム車を駐車して、小型合併浄化槽の汲取りをしていると思われませんが、たまに自分が通りかかると道路の中央にバキューム車をとめて作業をしています。作業員とすれ違うのですが、「すみません」と謝るわけでもありません。別ルートの道もあるが、これについては、いかがなものでしょうか。

事務局：それは、何色のバキューム車でしたか。

白のあさぎり苑のバキューム車であれば、市の職員です。
浄化槽汚泥を収集しているのは、民間のバキューム車です。

委員：わかりました。

事務局：そのことについては、関係業者に伝えておきます。

委員：竹チップの混入10%というのは、なにか根拠があるのでしょうか。
竹チップ混入5%とか、20%とかを試されましたか。

事務局：平成24年頃に東雲高校の研究に参加したとき、竹チップの配合割合を調査研究した結果、竹チップ混入10%が一番良い結果となっております。

委員：竹チップを混入した場合、消臭機能があるということですが、肥料としての性能に関して影響はどうでしたか。
竹チップをもっと細かくして、竹の粉状にしたものを肥料に混ぜると、同じ分量の肥料でも性能がアップするというので、使用されている方がいらしゃいます。
市の肥料については、性能はアップしてるのでしょうか。

事務局：肥料性能がアップするかどうかまではわかりませんが、国の肥料登録をして、許可書をいただき肥料配布してます。
肥料テスト（発芽テスト）で、良好な結果となっております。

事務局：あさぎり苑で使用している竹粉碎機では、それほど細かくはできません。粉末にして効果があるとなれば設備投資が必要になってきます。

副会長あいさつ

私がこの生活環境保全委員会に参加してから、公害モニター報告において、すべての方のご意見がなかったことは初めてです。努力されている結果ではないかと思えます。

季節的なこともあるのかもしれませんが、良い結果が続いていくことを期待します。

ありがとうございました。

所長あいさつ

ありがとうございました。最後になりますけれども、日々の運転業務の中で、周辺環境への影響を少しでも軽減できるように、今後も努力していきたいと思えます。どうぞ、よろしく願いいたします。ありがとうございました。